

## 【基盤整備型】磐田市西貝地区

<b>題名</b>	地域の話し合いから農地を集約して耕作放棄地を再生		
<b>実施年度</b>	平成21～25年度 (事業実施は25年度)	<b>解消面積</b>	0.6ha (事業実施面積5.6ha)
<b>取組主体</b>	西貝地区本田を考える会 株式会社 鈴生	<b>支援機関</b>	磐田市担い手育成総合支援協議会 遠州中央農業協同組合 中遠農林事務所
<b>活用した事業名</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地再生利用緊急対策交付金 (国)</li> <li>県単独耕作放棄地解消基盤整備事業 (県)</li> </ul>		
<b>地区の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西貝地区は昭和40年代、水田の区画整理とあわせて畑地の造成を行ったが、畑地所有者の高齢化や後継者不足により、今後、耕作放棄地が増加していくことが懸念されていた。</li> </ul>		
<b>再生の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西貝地区本田を考える会」は、平成21年度頃から関係機関(市・農林・JA)とともに、今後どのように地区の畑を守っていくかの検討を開始した。</li> <li>会では、事業を活用することを決めるとともに、地区内の担い手が不足していることから、担い手の確保に向けて市内外の認定農業者や農業生産法人等に呼び掛けを行った。</li> <li>その中で、規模拡大を図るためにまとまった農地を探していた農業生産法人の「株鈴生」とのマッチングを進め、「人・農地プラン」の中心的経営体に位置づけるとともに、耕作放棄地0.6haを含む約3.4haを集積した。</li> <li>再生作業は、県単独耕作放棄地解消基盤整備事業等を活用し、耕作放棄地0.6haを含む5.6haについて、24～25年度に立木等の障害物除去や耕起・整地を実施した。</li> </ul>		
<b>再生利用に至ったポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西貝地区本田を考える会」を中心に、地区内の農地の適切な利用について徹底的に議論を行ったことで、地区外の担い手の事業参入を決定することができたこと</li> </ul>		
<b>活動風景</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>再生前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>再生後</p> </div> </div>		
<b>問い合わせ先</b>	磐田市農林水産課 TEL 0538-37-4813		

